



小中一貫教育
全面実施

交野市学力向上プラン

～9年間をつなぐ。9年間で育てる。～

令和2～6年度 交野市教育委員会

育成をめざす資質・能力

『社会の様々な変化に対応するための「生きる力」』

- 主体的に根気強く学びに向かう力
- 基礎的・基本的な知識を習得し、活用する力
- 自分の考えを持ち、表現する力(言語活用力)
- 他者と協働しながら課題を解決する力



かたの
スタディ

★ 学校・学園(中学校区)の取組み

★ 9年間をつなぐカリキュラムの推進

- 学校教育目標や学園(中学校区)の「めざす子ども像」を全教職員間で共有し、その達成のために一体となって取り組みます
- 学校・学園(中学校区)の自主性・自律性を活かし、児童・生徒や地域の状況を踏まえた上で、「新たな科」をはじめとする学校・学園独自のカリキュラムを一層進めることで、特色ある学校・学園づくりを推進します

★ 学びに向かう環境づくり

- 学習の準備、授業のはじめ・終わりのあいさつ、適切な姿勢、話し方・聞き方など、授業で大切にしたい基本的な習慣を整えます
- 「ともに学び、ともに育つ」観点で、すべての児童・生徒にとってわかりやすい指導をめざし、授業改善を進めます
- ユニバーサルデザインを意識した教室づくり・学習環境づくりを一層進め、すべての児童・生徒が安心して学びに向かえる環境を整えます

★ 自学自習力の向上

- 「家庭学習の手引き」等を活用して、児童・生徒・保護者に家庭学習の重要性や効果的な方法を周知します
- 学校の授業と家庭等での自学自習を一体として捉え、児童・生徒の主体的な学びと学力向上につながるための両者の在り方について研究します

★ 読書習慣の定着

- 児童・生徒が読書に向かい、語彙を豊かにし、文章を読む力をつけるため、学校図書館の環境づくりを進めます。
- 学校図書館を、読書・学習・情報センターとして位置づけます。児童・生徒が自ら資料(新聞や関連図書)を活用し、主体的に課題に向かい、学習を進めることができるような授業をデザインします

★ 統一した流れによる授業づくり(「かたのスタディ」)の推進

- ① 授業の中で「**学習のめあて**」の提示
 - 「何を学ぶのか」「何ができるようになるのか」を意識して学べるよう、授業の中で「めあて」を共有します
- ② **一人でじっくり考える時間の確保**
 - 自分の考えや意見を持ち、課題に向き合う時間を確保します
- ③ **ペアワーク・グループワーク**で意見交流
 - 思考したことをペアや少人数グループで共有します
 - 他の人の意見を聞くことで、多様な考え方に気付いたり、自分の考えをさらに深めたりできるようにします
- ④ **クラスで学び合う時間の確保**
 - 聞く人がわかりやすいように、ことばや表現方法を考えて伝えることを大切にします
 - 互いに学び合い、多様な考えに触れることで、自らの考えや学びをさらに深められるようにします
- ⑤ **学習の振り返り**の実施

学んだことを自分で振り返り「何がわかったのか」「何ができるようになったのか」を自分の言葉で書いたり話したりすることで、学んだ内容を意識させ、学習内容の定着を図ります

★ 「ともに学び、ともに育つ」教育の推進

- 一人ひとりを尊重し、すべての子どもにとって学びやすい授業づくり、学習環境づくり
- 支援学級・通級指導教室の環境整備

★ 言語活用力の向上

- 国語科を中心に、全ての教科において、語彙力・文章を読む力・書く力を育成
- 学校図書館を活用した、読書活動・資料の活用を伴った授業の推進

★ 校内研究の充実

- 校内全体で取り組む研究体制づくり
- 教員全体の授業企画力・構成員向上
- 拠点校の校内研究の公開、市内全体での情報共有

★ キャリア教育の充実

- 社会的・職業的自立に向けて必要となる能力や態度を養い、自らの生き方について考える児童・生徒の育成
- 系統的なキャリア教育と深い自己理解のため、学校、家庭、地域での学びや、将来の生き方を考える活動の記録を蓄積(キャリアパスポート)

★ 家庭・地域との連携

★ 基本的な生活習慣

- 早寝・早起き・朝ごはんの定着
- テレビやゲーム、インターネット、携帯、スマホ等の、適切な使用時間の設定(平日30分、休日60分を目安とし、自分で時間の管理を行えるようにする。)

★ 家庭学習

- 家庭学習の時間づくりと環境づくり
- 読書習慣の定着と、新聞や様々なジャンルの本への挑戦

★ 学校とともに…

- 開かれた教育課程の実現と、学校・地域が協働する学校運営
- 地域人材の協力・活用

★ 家庭学習の充実

- 授業と家庭学習の一体化の推進
- 自学自習の在り方の検討と「家庭学習の手引き」の見直し

★ 教職員研修の充実

指導力の向上を図るため、キャリアステージに応じた実践的な研修や連絡会を実施

★ プログラミング教育の推進

ICT機器を用いたプログラミングの学習を通し、児童・生徒の情報活用能力、論理的思考力を育成

★ 外国語教育の充実

- 外国語活動・外国語科(英語)の充実のため、学校にネイティブスピーカーを配置し、コミュニケーション能力を育成
- プレゼンテーション大会など、英語で「伝え合う場」の保障

★ ICT環境の整備・充実

タブレットをはじめとする、情報手段を活用するために必要なICT環境を整備

★ 交野市の学び(教育委員会の支援)